

## 「はまっ子どうし The Water『超使命感ボトル』」を活用した 広報活動

神奈川県 横浜市消防局

横浜市消防局では、市民を全力で守るという強い使命感（超使命感）をもって約3,500人の消防職員が日々活動しています。そのうち女性は約120人で、すでに昭和44年から女性の採用を行っている歴史がありますが、消防は「屈強な男性の職場」という強いイメージが定着してきたのが実情です。

その「屈強な男性の職場」というイメージを変え、消防は女性も活躍している仕事であることを広く知っていただくため、横浜市消防局を舞台とした小説「消防女子!!」（佐藤青南氏著）とコラボレーションした、横浜消防オリジナルの「はまっ子どうし The Water『超使命感ボトル』」を製造し、販売をしています。

一方、横浜市消防局の職員は市民を全力で守るという「超使命感」を持って仕事に取り組んでいます。こうした消防職員の思いと、いつでも安全な水をお客さまにお届けするという横浜市水道局の職員の思いが一つとなり、「超使命感ボトル」の誕生へとつながりました。



発売開始記者発表写真 林横浜市長とともに

「はまっ子どうし The Water」とは横浜市水道局が製造・販売しているペットボトル飲料水（ボトルドウォーター）です。この水は、横浜市の水源の一つである山梨県の道志川の清流水を詰めたもので、水源保全と良質な水との関係、水源保全の大切さを市民に知ってもらい、横浜の水源地や水道事業への関心を高めていただくことを目的としています。また、売上の一部を環境貢献や国際支援のために寄附する等、環境にやさしい社会づくりに貢献しています。



超使命感ボトル デザイン（正面）



超使命感ボトル デザイン（横）

また、ラベルデザインとなっているのは、小説「消防女子!!」です。この小説は、これまでに『消防女子!! 女性消防士・高柳蘭の誕生』『灰と話す男 消防女子!! 高柳蘭の奮闘（単行本）』の2タイトルが刊行しており、横浜市が舞台となって新米女性消防士が活躍する消防ミステリー&アクション小説です。

今回の超使命感ボトルには「消防女子!!」シリーズの表紙イラストをボトルパッケージに起用しています。横浜市消防局が「消防女子!!」とコラボレーションすることになったきっかけは、平成27年3月に、初めての試みとして実施した採用試験受験者向け「女性限定セミナー」で「消防女子!!」をキャッチフレーズにしたことが始まりです。このセミナーは、受験者に女性消防士の活躍をもっと知ってもらう必要があると考え企画したものです。女性消防職員をメインにしたポスターを製作し、ホームページやツイッター等でセミナーへの参加を募ったところ、なんと定員の25名を上回る応募がありました。セミナーでは基本的な業務説明のほか、庁舎見学(女性用の仮眠室など)、消防車両見学などをはじめ、男性職員は退室し、当局の女性職員と「実はね・・・」という本音の話や意見交換を行うなど、多様なメニューを用意しました。セミナーは大好評で、終始アットホームな雰囲気のもと、参加者からは「男性の多い普段のセミナーは行きにくかったが、女性だけのセミナーは参加しやすかった。」「女性消防士は男性以上にかっこよく、憧れます。」などの声が聞かれました。こうした取組もあって、昨年度の採用試験ではこれまでにない多くの申込みがありました。そして、より消防の仕事を広く知ってもらうため、「消防女子!!」の「超使命感ボトル」を作り、広報ツールとして起用することになったのです。



イベントでの職員採用ブース  
広報ツールとしての超使命感ボトルの使用

その後、横浜消防出初式2016での販売をスタートに、横浜市民防災センターの自動販売機や市内の一部自動販売機での販売のほか、熱中症予防をはじめ、各消防署所のイベントでの配付などで広報ツールとして活用しています。

平成28年4月には、これまでで最も多い23名の女性を採用しました。今後も、効果的な広報により、男性も女性も活躍している横浜市消防局の魅力を市民の皆さま、消防への就職を考える方などに発信してまいります。



就職セミナー参加者に対し『超使命感ボトル』の配付